

## 動くおもちゃ作り・木工教室

代表 多田 照代 (昭和46年卒業)

- 1 事業名 動くおもちゃ作り・木工教室  
 2 対象 さぬき・東かがわ市内 幼稚園児・小学生とその保護者  
 長期休業中や市内の文化祭、放課後児童クラブ等において、希望者を募集したり、参加者を対象にしたりして体験教室を実施した。

## 3 趣旨・目的

近年、子どもたちは情報機器活用能力には長けているが、手先を使ってもの作りをする経験が非常に少なくなっている。そのため、理科の授業での実験観察の技能は年々低下しており、理科離れが進んでいる。また、学校外活動ではスポーツ少年団活動や、社会教育としての子ども体験教室などが種々行われているが、手先を使うものづくり教室は、陶芸を除いてほとんど開催されていない。

そこで、松楠会大川支部の会員有志が集まって、体験教室を開催した。

身近にある材料を使って、簡単にできる動くおもちゃや木工作品を作り、遊んだり使ったりすることで、科学の楽しさ面白さ・実用品を自分で作って使う楽しさを味わわせたいと考えた。

- 4 構成員 川根洋二、白井加代子、多田照代、長谷川誠二、頼富康子、千田香代子、石塚恵子、曾根秀子  
 (外部講師) 松原 俊男氏 以上すべて松楠会会員である。

## 5 事業報告

実施年・月・日、時間	実施内容	対象・参加人数・参加者氏名	会場
平成27年7月12日(日) 10:00~12:00	動くおもちゃ作り事前研修 ・帰っておいで・スカイスクリュウ ・ポンポン蒸気船	松原俊男、川根洋二、白井加代子、多田照代、 長谷川誠二、頼富康子、石塚恵子、曾根秀子	大川公民館 多目的室
平成27年7月12日(日) 13:30~16:30	親子動くおもちゃ作り教室 ・帰っておいで ・スカイスクリュウ ・ポンポン蒸気船	指導者 松原俊男、川根洋二、白井加代子、多田照代、 長谷川誠二、頼富康子、石塚恵子、曾根秀子 参加者 さぬき市内小学生とその保護者 児童39名保護者25名	大川公民館 大ホール
平成27年7月22日(水) 13:00~18:00	木工教室クマモン振子時計 試作 指導者 長谷川誠二	川根洋二、白井加代子、多田照代、長谷川誠二 頼富康子、石塚恵子、曾根秀子	大川公民館 多目的室
平成27年7月25日(土) 9:00~12:00 13:00~16:00	親子木工教室 クマモン振子時計の製作 指導者 長谷川誠二	指導者 (午前)長谷川誠二、川根洋二、多田照代、 石塚恵子(午後)長谷川誠二、多田照代、頼富康子 さぬき市内の小学生(4~6年) 親子10組 保護者 8名、児童 10名	大川公民館 大ホール
平成27年7月29日(水) 10:00~11:30	さぬき南幼稚園預かり保 育・親子おもちゃ作り教室 (レーシングカー作成)	指導者 多田照代 (幼稚園教諭 6名) 参加園児 48名 保護者 10名	さぬき南 幼稚園預か り保育室
平成27年8月2日(日) 13:30~16:30	親子木工教室 クマモン振子時計の製作 指導者 長谷川誠二	指導者 長谷川誠二、白井加代子、多田照代 頼富康子、曾根秀子 さぬき市内の小4~6年親子10組 保護者9名、子10名	大川公民館 大ホール
平成27年8月9日(日) 13:30~16:30	親子木工教室 クマモン振子時計の製作 指導者 長谷川誠二	指導者 長谷川誠二、多田照代、頼富康子 さぬき市内の小4~6年親子10組 保護者9名、子10名	大川公民館 大ホール
平成27年8月18日(火) 13:00~15:00	寒川町児童ふれあいセンター放 課後児童クラブ動くおもちゃ作 り教室 (レーシングカー作成)	指導者 多田照代、千田香代子(支援員 6人) 参加児童(1~4年) 70名	寒川町児童 ふれあいセ ンター
平成27年10月31日(土) 12:00~16:00 さぬき市民文化祭in大川	動くおもちゃ作り ・帰っておいで ・スカイスクリュウ	指導者 川根洋二、多田照代、長谷川誠二 頼富康子、曾根秀子 さぬき市民文化祭大川祭参加児童 (幼児・小学生とその保護者) 約 50名	大川公民館 屋外テント
平成27年11月30日(月) 14:00~15:30	大川町児童館 放課後児童 クラブ動くおもちゃ作り (レーシングカー作成)	指導者 多田照代 (児童館職員6名) 放課後児童クラブ参加児童 (1年~4年) 27名	大川児童館

## 6 活動時の様子



大川公民館 親子動くおもちゃ作り教室



大川公民館 親子木工教室



大川公民館 親子木工教室



さぬき南幼稚園 動くおもちゃ作り



寒川町児童ふれあいセンター 動くおもちゃ作り



市民文化祭大川祭 動くおもちゃ作り

## 7 成果と課題

### 成果

- ・計画していた事業以外に、児童館等から依頼があり、多くの児童が動くおもちゃ作り体験ができた。  
(児童延237人、保護者等約100人、指導者延47人)
- ・出来上がったおもちゃを使って何度も何度も遊ぶ児童の笑顔や、キラキラ光るまなざしが印象的だった。どの子も「ありがとうございました。」とお礼を言って帰って行った。
- ・クマモンの振り時計は、大変人気があり10組限定であったが、もう10組追加した。それでも参加できなかった親子も若干あった。出来上がりに、十分満足していた。口頭でアンケートとると、来年も友達を誘って参加したいという意見が多かった。
- ・動くおもちゃ作りの手法や工夫は、科学教育振興会の松原俊男・前田伸雄両先生から多大なご指導をいただき、大変ありがたかった。また、予算の都合で購入できなかった道具類を科学教育振興会から借用できてよかった。

### 課題

- ・今年度は、さぬき市の児童対象の事業だけになってしまったが、来年度は、東かがわ市にも広げていく。
- ・夏季休業中の日程調整が難しかった。学校等の行事予定も加味して期日を決めていくようにしたい。
- ・市民文化祭大川祭では、午前のほうが親子連れが多く参加するので、初日の午前実施する。
- ・松楠会会員のみならず、協力してくれる仲間を増やす努力をする。特に東かがわ市の会員を勧誘したい。
- ・児童の発達段階に見合ったおもちゃの選定が肝要である。対象児の年齢幅が大きいときには準備段階で、差異を付けて材料を用意する必要がある。